

吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組の進捗状況

在宅医療・介護連携推進事業として市町村が取り組むこととして国が定めた8事業

	作業 部会	平成30年度	令和元年度
ア			
地域の医療・介護資源の把握	A	「すいた年輪サポートなび」医療・介護情報の掲載、活用状況のアンケート実施	アンケートによる活用状況の評価 活用促進
イ			
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	A～ D	協議会、部会、作業部会を設置し、より具体的検討 地域医療推進懇談会作業部会 ←	協議会、部会、作業部会を設置し、より具体的検討 アドバンス・ケア・プランニングに関する実態把握、課題整理、対策の検討
ウ			
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	B	吹田市版情報共有ツール（利用者情報提供書、入院から退院までの支援フロー図、退院前カンファレンスチェックシート）の普及促進、活用状況調査 情報共有のための連絡サイトの活用促進	吹田市版情報共有ツールの活用促進
エ			医療・介護関係者の情報共有の支援
オ			
在宅医療・介護連携に関する相談支援		地域包括支援センターにおいて相談対応（10月開始）	地域包括支援センターにおいて相談対応
カ			
医療・介護関係者の研修	C	市主催で多職種連携研修会の開催 2回開催（看取り）	市主催で多職種連携研修会の開催 2回開催（退院支援）
キ			
地域住民への普及啓発	D	在宅療養に関する啓発リーフレット配布・関する出前講座の実施 図書館パスファインダーの周知	在宅療養に関する啓発リーフレット配布・関する出前講座の実施 図書館パスファインダーの周知 アドバンス・ケア・プランニングに関するリーフレット等の検討 ←
ク			
在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携		豊能在宅医療懇話会への出席 豊能圏域入退院における多職種連携実務研修等	豊能在宅医療懇話会への出席

※作業部会は A～D の4つに分かれて運営

新規の取組



すいた年輪サポートナビ

平成 29 年（2017 年）11 月からスタートした「すいた年輪サポートナビ」では、医療機関の
情報や介護保険事業者等の基本情報や空き情報などを、誰でも検索できます。
自分の住む地域にある事業者や施設の空き情報などを調べてみてください。



吹田市ホームページのトップページにある
このイラストをクリック！



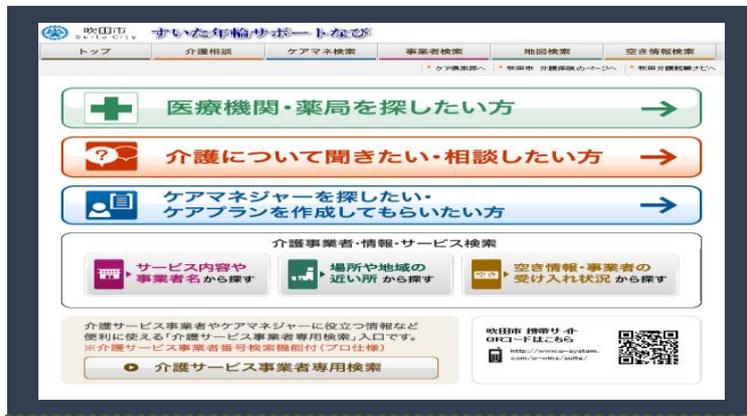
検索サイトでの検索も可能です！



携帯・スマートフォンからはこちら



<http://www.u-system.com/u-wins/suita>



地域住民への普及啓発

自分らしく生きる

～もしものために今できること～

吹田市地域包括支援センター

医療と介護 重ねた年輪 支える吹田
～11時まで、お家で暮らしたい方へ～

自宅での生活を支える医療と介護
行動量減、医療や介護が必要になった方を自宅で支えるサービスがあります。

通院ができなくても、自宅で医療が受けられます

自宅で医療とは？ 身体や病気の状況によって、通院が困難となった場合、医師や看護師が訪問して、自宅で診察や治療、処置などを行うことです。

どんな医療が受けられるの？ 自宅などで医師により受けられる医療行為に、特に制限はありません。診療科目は、内科など医療機関、必要に応じて、理学療法、口腔ケア、リハビリや福祉の職なども連携することがあります。

在宅医療 Q&A

Q1. 在宅医療が受けられるのは、どんな年齢や病気の人が受けられるの？
A1. 年齢や病気に制限はありません。ただし、病気のために通院が困難な方に限られます。

Q2. 在宅医療の報酬は、どこにすればよいのでしょうか。
A2. まずは、かかりつけ医に相談してみてください。

Q3. 在宅医療は、希望すれば必ず受けられますか。
A3. 状況によって医療ニーズが異なります。かかりつけ医から病状や通院状況を伝えてもらえると受けやすくなります。

Q4. 在宅医療も自宅で受けられることではあるのですが、在宅で医療を受けることは難しいです。
A4. 在宅医療は可能なこと、自宅で医療を受けることもありますが、医師や看護師に相談することがありますので、まずはご相談ください。

かかりつけ医を探すポイント
かかりつけ医がない場合は、次のポイントをお役立ちポイントとして探してみてください。

- ① なるべく自宅から近い場所にある
- ② 医師を多く雇っていて、相談しやすい
- ③ 必要に応じて、専門の医療機関を紹介してくれる

いつでも相談できるよう、医師の近くで診療科・診療時間・業務内容のかかりつけ医を探しましょう。

吹田市立図書館「スファインダー」
「医療・介護」
をしらべる方へ

作成
吹田市高齢福祉室
吹田市立図書館
2018年3月 初版

(1) このサービスは、資料や情報の提供のみを行うものです。
(2) 図書館では、治療についての判断はできません。
(3) 図書館は、利用される方のプライバシーを守ります。

吹田市立図書館ホームページアドレス
<http://www.lib.suita.osaka.jp/>



医療と介護の橋渡し…「情報共有ツール」

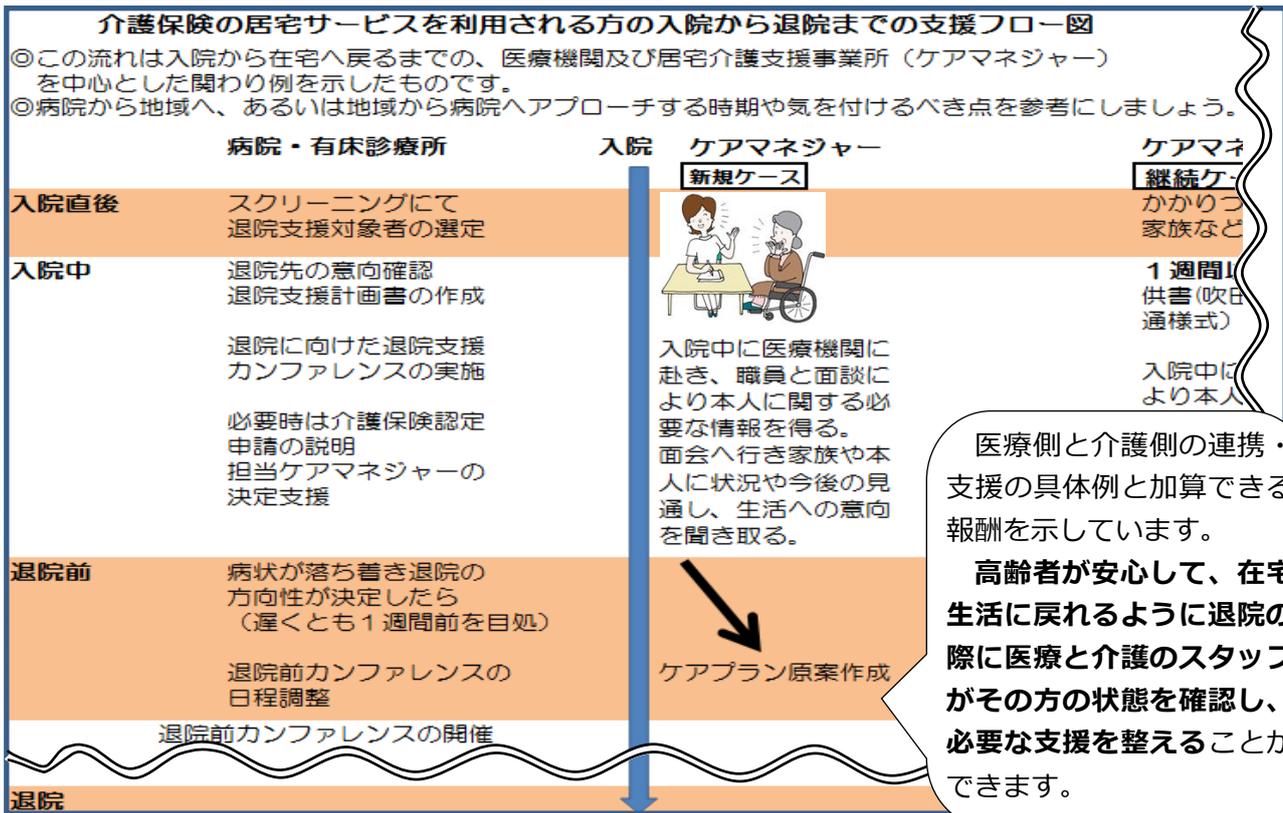
吹田市ケアネット実務者懇話会では、切れ目なく在宅医療と介護サービスを提供できるよう、医療・介護関係者等が活用できるさまざまな手段（ツール）を作っています。

利用者情報提供書

入院時等にケアマネジャー（居宅介護支援事業者）が提供するツールです。高齢者が入院等医療を受ける時に、**その方の状況**（氏名、生年月日、介護認定区分、かかりつけ医、体の状況等）について**短時間で伝えることができるため、適切な医療に結び付けることができます。**

<input type="checkbox"/> 利用者情報提供書 <input type="checkbox"/> 居宅サービス依頼書 平成 年 月 日	
病院 御中	
基本情報 ふりがな _____ 男 _____ 女 _____ 氏名 _____ 生年月日 _____ M T S _____ 住所 _____ TEL _____ 介護認定区分 要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5 申請中 区分変更中(/ 付) 認定有効期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 かかりつけ医 医院名 _____ 医師名 _____ 電話 _____ その他受診医 あり _____ 内科・外科・整形外科・精神科・歯科・その他()・薬局() なし _____ 現病 _____	
事業所番号 _____ 事業所名 _____ 担当ケアマネジャー _____ 電話 _____	

入院から退院までの支援に向けてのフロー図



退院前カンファレンスチェックシート

退院後、在宅療養を進めるに当たり、病院の主治医、看護師等と在宅支援スタッフ等との間で、本人の病態や状況についての情報を共有するための「退院前カンファレンス」に必要な情報項目の整理等をしたものです。